

ひろば大代

NO.446

大代まちづくり
センター

H28.9.23

敬老の日特集

11日(日)大代町敬老会が68名の出席者を迎えて旧小学校体育館で開催されました。

高村清新会長の挨拶に始まり、駐在



さんの腹話術他、南京玉すだれ、大江高山神楽社中の神楽のアトラクションに楽しい一時を過ごしました。



88歳 鉦 昭人さん

77歳 渡利忠正さん

77歳 飯田須美子さん

77歳 渡利操子さん

祝米寿

幼き頃の思い出

四日市 鉦 昭人

「東洋平和の為ならば何で命が惜しかろう。」思えばあれから70年余りの歳月が流れ「光陰矢の如し」との格言

をしみじみと感じます。

当時は子だくさんの時代でしたから、どの家庭も子供が多く、我が家もご多分にもれず、男7名女2名計9名の5男としてこの世に生を受けました。

小さい頃、牛肉のすき焼きがめったに食べられなくても、身に着ていた衣服が継ぎはぎだらけの粗末なものであっても、ヒザの部分には、二重三重の布があててあり、下駄ゾウリをはいて、笑ったり、泣いたりして思い切り遊んだものです。こんにちでは想像も出来ないことでしょう。

その当時は周りの方もそう「ラク」ではなかったろうから「ヒクツ」にならずにすんだと思います。

父は早くから牛の草刈に行き、時々母も草刈に、残った子供はかまどの火の番をし、たきぎをつくろい忘れ、火が消え、「ふいだけ」のおかげでまた、小さな火が上へ上へと、燃え上がり、美味しいご飯ができました。その底にできた「きつね色のオコゲ」のおにぎりがおいしかったのを思い出します。

この頃の世の親達は多くの家族を養うため、食糧の世話に随分苦労された

と思います。今幸せだと思える人生を精一杯生きることと両親の恩に報いたいと思っています。

昭和は遠くなりました。現在の風景は荒れ地が多く目につき、農業を代々続けていく事は大変なことと思っています。

美味しい新米をよばれています。

米口ずさみ歌

大乘（西本願寺月刊誌）より

○食うたびに大悲の米の味わひは、

かめばかむほどうまみ出けり

○食うて見れば、みればみるほどま

いのに、これがいけずは病なりけり

○病ならずておきては、なほるまい

六字の薬たてかけて飲め

○妙薬のききめが今はあらわれて

いつも教えのめしのうまさよ

祝米寿

八十八歳を迎えて

下飯谷 和田美代子

大代の高山の麓に生まれ、今日まで元気でいられた事をうれしく思っています。今は「ピラ高山」に週二回お世話になっています。

大代の地区の方に出会って色々とお話しが出来て、お風呂に入っておいしい食事をいただき、職員の方が細かく気をつけて下さいますので、何の心配もありません。

だんだんと、眼もうすくなくなり、耳も遠くなり、足腰も鈍くなってきました。でもしっかりとしなければと自分に言い聞かせています。

地域の方、家族の者に感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。



恵比寿さんよりお菓子のプレゼント。

祝喜寿

喜寿を迎えて

下飯谷 飯田須美子

今年の夏は、とにかく暑い日々で大変でした。

敬老会に呼ばれはじめて、本当に早いもので、私も喜寿を迎えることができました。

自分は、まだ何でもできると思っているけど身体が思うように動きません。仕方ないですが…。

一番目の孫に二人目の子ども、私にとつての二人目の曾孫が産まれました。今一番かわいい時です。

二番目の孫は、七月に結婚して、今大田に住んでいます。夜、神楽の稽古で大代に上がって来ると、家に寄って必ず私の顔を見て「気を付けてな」と声をかけて帰っていきます。とてもうれしいです。

今年の盆も、子どもや孫や曾孫がみんな来てくれて、賑やかなひと時を過ごすことができました。

私は、いっとうなるかわかりませんが、身体が動く限り頑張りたいと思っ



ています。

皆さまにも色々とお世話になること
もあろうかと思いますが、若い者共々
よろしくお願いいたします。

|| 祝喜寿 ||

思いのまま



弓久 笠岡勝江

喜寿のお祝いの言葉を頂き有難うござ
います。皆さんの支えがあつて暮ら
せています。

同級生45名でしたが大代に残つて
いるのは4名、あとは都会への流出で
す。農にたずさわる事50年余り、稲作、
畜産、椎茸作りとかけずりまわった
日々が懐かしく、社会の移り変わりに
も、とまどいを感じます。

今は随分と弱くなつてきた自分、畑
作野菜の種類を多く作り、体を動かす
ことを目的に楽しんで作っています。

6月には自然に自生している「ササ
ユリ」の香りに魅かれて守りつつ、「サ
サユリ」をとおして、色々の人との出
会いやお便りもあり、嬉しく思ってい
ます。

そして主人は家の周りの草刈に力を

注ぎ、畑を起こし、まるで公園のよう
だと来られた方がびっくりされていま
す。時にはそれぞれ、別々のものを作
つてお互いに比べています。

今年の夏は「サル」が一番多く来て
全部野菜を取られ、悔しい思いをしま
した。犬に頼つても老犬で、思いのほ
かうまくいきません。

とても暑い夏でしたが、オリンピッ
クでの競技のすごさを観て感動です。

台風の接近も東北や北海道等、とて
も心配でした。数日前からようやく涼
しくなり、又秋野菜に精を出したいと
考えています。

ふる里大代で皆様のお力を受けなが
ら今後ともよろしくお願い致します。

私の誕生日に思う

弓久 高村利乗



8月18日は私の誕生日でした。何回
目の誕生日になるかと思うと心が淋し
くなります。暑い夏も過ぎようとして
おります。蝉の声も淋しく聞こえるよ

うになりました。秋もすぐそこに来て
いるようです。

妻に先立たれ、まもなく一年が来ま
す。昨年思いもよらず私を残してお浄
土に往きました。

病院や施設を嫌う妻なので、私が動
かれる間は面倒をみるということので介
護を続けてきましたが、突然食事がの
どを通らず、帰らぬ人となりました。

思えば結婚して67年間も色々苦勞
を掛け通して申し訳なく、今はせめて
墓参りと夜休む前に、仏壇に線香をあ
げて手を合わせるのを日課としており
ます。

世の中私一人ではないと思ひますが、
あとに男が生き残るのはとても惨めな
ように思います。炊事、洗濯、掃除等
自分でやらねばならず、若い時、3年
くらい軍隊生活をした事を思い出しま
したが、今は体がついていきません。

幸い子供が近くにいるので、時折手
伝ってもらつております。残りの人生
を元気でいたいものです。

「歳とれば淋しく聞こえる 蝉の声」



